

中部電力パワーグリッド(株)大垣営業所と災害協定を締結

8月19日(水)、養老町と中部電力パワーグリッド(株)大垣営業所との間で、災害発生時の電力復旧に関する協定が結ばれ、締結式が執り行われました。

この協定では、町が管理する道で倒木などが発生し、停電等の発生源までの道が通行できない場合、同営業所が町に除去作業を要請することや、日ごろから連携して危険箇所を確認することなどが盛り込まれています。

締結式で大橋町長は、「電気は町民生活を支える重要なインフラであり、一刻も早い復旧が求められる。町も積極的に関わっていききたい」と述べました。



佐竹直太郎翁顕彰祭



顕彰祭の様子

9月1日(火)、牧田川改修工事に尽力し、当地域の治水事業に大きな功績を残した佐竹直太郎翁の顕彰祭が高田の顕彰碑前で執り行われ、地域の関係者ら約10人が参加しました。

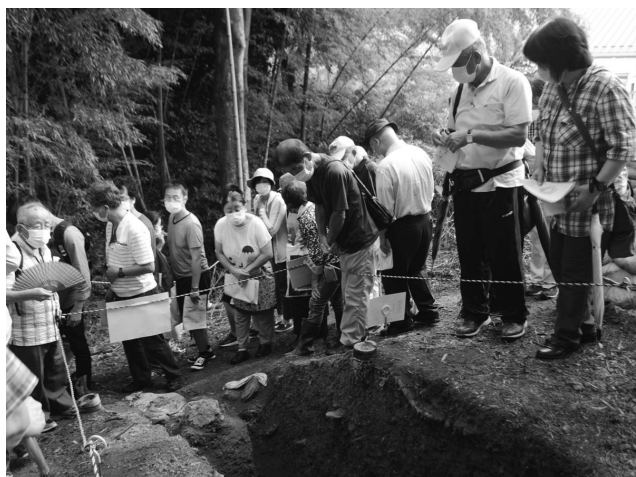
今年は新型コロナウイルス感染症の影響により、規模を縮小しての開催となったことを受け、佐竹直太郎翁顕彰会副会長の日比野直正区長は「早く新型コロナウイルス感染症が終息し、来年は例年どおり盛大に開催できることを願っています」と語っていました。

千人塚 1号古墳範囲確認調査の成果を公表

9月13日(日)、養老の千人塚1号古墳にて、町教育委員会が今年度実施した範囲確認調査成果の周知を目的とした現地説明会が実施されました。

この調査では、千人塚1号古墳が5世紀末～6世紀初頭に築造された全長約35mの円墳であり、西濃地域にある同時期の円墳の中でも最大級であるということが分かりました。また、その被葬者は古代多芸郡の基盤を形成した有力者であると推定されました。

説明会当日は、約150人が現地を訪れ、墳丘の周りを巡る溝が埋まった痕跡や、出土した埴輪のかげらなどを見学していました。



範囲確認調査現場を見学する参加者の皆さん